



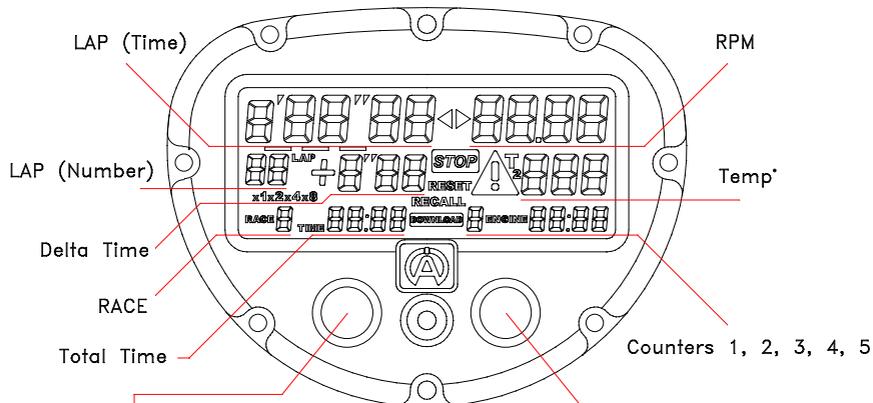
PRO V2 A-105



User Manual (JP)

PRO V2

A-105



STOP

01. Recall
02. Counters 1, 2, 3, 4, 5
03. Download
04. Reset
05. Config System

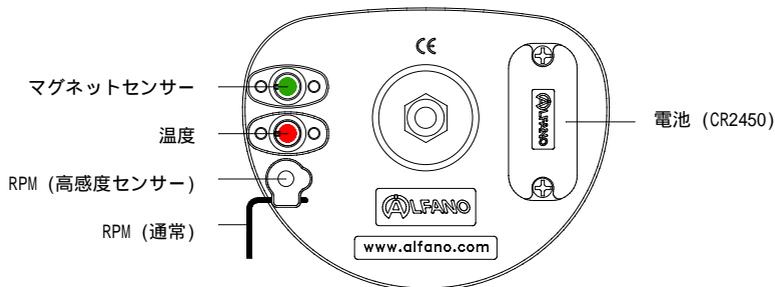
Enter
Select
Confirm

06. Recall RPM Graph

07. - - - - -
08. Stroke : x1, x2, x4, x8
09. Strip Number
10. T1°C/T2°C/T1°F/T2°F
11. T Alarm
12. Default

センサー取り付け部

本体後ろ:



電池の交換



電池交換時は必ず本体電源を OFF にしてから行ってください。そして、左図の通りの "+" と "-" の向きに十分注意して電池を入れてください。なお、電池を入れる際、無理に入れると中の電極が曲がってしまう場合がございます。十分注意をしてください。

重要: 電池交換の際、交換される電池はかならずメーカー推奨かつ良質の C R 2 4 5 0 電池をご使用ください。

コネクター保護

重要: 使用されないコネクターがある場合は、必ず付属の保護キャップで閉めておくよう请您にしてください。



注意: 使用工具は必ず専用の TX20 トルクスレンチをご使用ください。そして、スクリューの締め過ぎは本体故障の大きな原因となりますので、締め過ぎには十分ご注意ください。

電源を立ち上げる

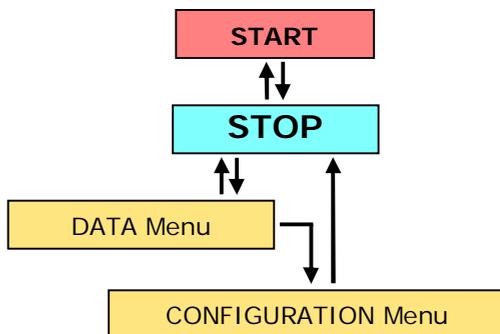
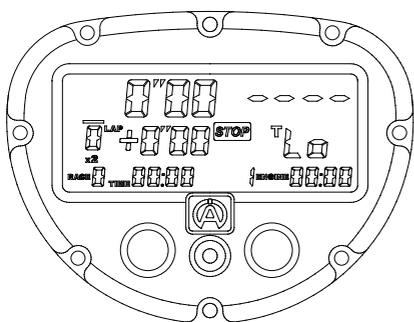
本体ボタンを2秒間、両方同時押し後、離すと本体電源が立ちあがります。

STOP Mode (STOP モード)

STOP モードからは以下の3つを行います

- 1 PRO V2 電源立ち上げ
- 2 START モードより、左ボタンを押します
- 3 START モード10分間は放置しても自動的に計測可能です

NOTE: STOP モードは全てのメニューへの基本となります。実際 STOP モードから START モード もしくは DATA menu、CONFIG SYSTEM Menu と全てのモードへ移行可能です。



STOP Mode

1 右ボタンを押す:

>>

ベストラップ表示.
最高回転数の表示.
最高温度の表示.

3 秒間表示されます

データ測定

CHRONO Mode: (PRO V2 における、標準的な設定です),

本体は3セッション、最大99LAP測定可能です。

REC. Mode: (CHRONO mode からの設定が必要です). 参照 P 8.

本体は0.2秒毎に回転数を測定します(最大6'36''80), これによって ALFANO_VUE ソフトを使用し回転数グラフを表示することができます。

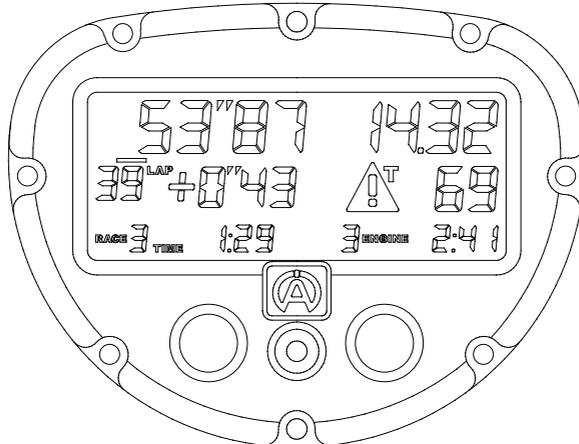
シリアルナンバー

お持ちの ALFANO 本体シリアルナンバーはメニュー：2, 3, 4 で表示されます。

START Mode

コース上における PRO V2 からの情報：

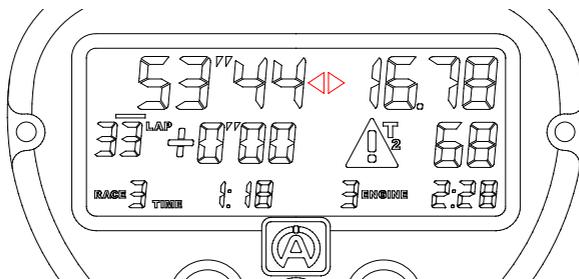
一度 ALFANO 本体が START mode に入ると：PRO V2 とその付属センサーから得たラップ情報が下図のように表示されます



- ラップタイム.
- そのラップの周回数.
- ビットインの周回数.
- 最終ラップタイムとベストラップの差.
- 回転数.
- 温度 + 温度警告.
- 全体の経過時間.
- カウンター稼働時間.

その他の表示内容：

最高回転数と最速ラップ時にはそれぞれ矢印が表示されます。：



DATA MENU

STOP Mode の間:

左ボタンを押すことで、メニュー 1 - 5 に移動します。

Menu 0.1 : RECALL (リコール)

記録ラップデータを表示します:

1	そこで右ボタンを押すと:	>>	全周回のデータ表示
---	--------------	----	-----------

区間タイム: 3 秒間ボタンを押さずに放置すると、自動的に区間タイムが表示されていきます。

2	左ボタンを押す:	>>	<u>このメニューから出ます</u>
---	----------	----	--------------------

Menu 0.2 : COUNTERS (カウンター)

エンジン稼働時間の確認と時間リセット:

1	そこで右ボタンを押すと:	>>	<u>全カウンター時間の表示</u>
---	--------------	----	--------------------

2	右ボタンを 1 秒間長押し:	>>	<u>表示されているカウンター時間リセット</u>
---	----------------	----	---------------------------

3	左ボタンを押す:	>>	<u>このメニューから出ます</u>
---	----------	----	--------------------

注意: このメニューから出るときのカウンター番号が、次の STOP/START モードでのカウンター設定番号となっております。

Menu 0.3 : Download (ダウンロード)

パソコンへのデータ転送はダウンロードペン A-411 をご使用ください:

1	右ボタンを押す:	>>	<u>データ転送開始</u>
---	----------	----	----------------

Menu 0.4 : RESET (リセット)

記録データのリセット:

1	右ボタンを押す:	>>	データリセット
---	----------	----	---------

Menu 0.5 : CONFIG SYSTEM (詳細設定)

STOP mode に戻るか CONFIG SYSTEM menu に入るかを選択します:

1	右ボタンを押す:	>>	menu 0.6 CONFIG SYSTEM に入ります.
---	----------	----	-------------------------------

2	左ボタンを押す:	>>	メニューから出て STOP menu に戻ります.
---	----------	----	---------------------------

CONFIG SYSTEM MENU

Menu 0.6 : RPM GRAPH

バストラップにおけるエンジン回転数の使用分布頻度を 640rpm 毎に表示します。

1	右ボタンを押していく:	>>	回転数の選択.
---	-------------	----	---------

2	左ボタンを押す:	>>	このメニューから出ます.
---	----------	----	--------------

続けてメニューの7~12に移動するときは、左ボタンをおしてください

Menu 0.7 : ----- VIDE (無し)

Menu 0.8 : RPM Stroke (ストローク設定)

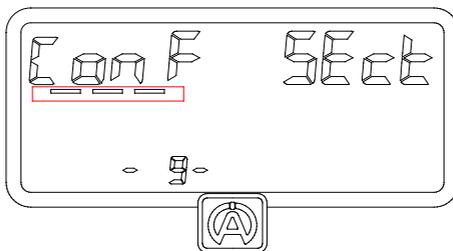
エンジン別による回転数ストローク設定:

1	右ボタンを押していく:	>>	選択: X1, X2, X4, X8.
---	-------------	----	---------------------

Menu 0.9 : STRIP NUMBER (区間数)

ご使用になるサーキットの埋設マグネット数を設定します, 最大 3区間.

1	右ボタンをおしていく:	>>	選択: 1, 2, 3 (区間数が で表示されます)
---	-------------	----	-----------------------------


Menu 10 : T1 °C / T2 °C / T1 °F / T2 °F (温度単位設定)

T1 / T2 と Celsius/ Fahrenheit (C/F) で温度表示設定を選択:

1	右ボタンを押す:	>>	選択: T1 °C / T2 °C / T1 °F / T2 °F
5	左ボタンを押す:	>>	<u>このメニューから出ます.</u>

温度設定範囲は下記の通りです:

T1 °C	=	0 °C to 255 °C
T2 °C	=	45 °C to 300 °C
T1 °F	=	32 °F to 491 °F
T2 °F	=	113 °F to 572 °F

Menu 11 : T ° ALARM (温度警告アラーム)

最高温度警告アラーム(アイコン)を設定:



2	右ボタン長押しか連続押し:	>>	<u>設定警告値が上がります.</u>
6	左ボタンを押す:	>>	<u>このメニューから出ます.</u>

Menu 12 : DEFAULT (初期リセット)

PRO V2 設定内容を向上出荷状態(初期状態)に戻します.

1	右ボタンを押す:	>>	<u>初期リセットの確認.</u>
---	----------	----	-------------------

初期リセット完了後は自動的に STOP mode に戻ります

REC. Mode

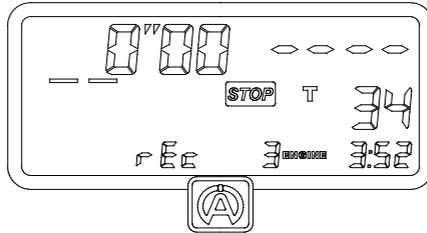
« 6 ' 36 ' ' 80 » エンジン回転数値を 0.2 秒毎に測定していきます。これによって ALFANO_VUE ソフトで回転数グラフを見ることができます:

REC. mode における ALFANO PRO V2 設定

IMPORTANT: CHRONO mode から REC mode に移行した場合、CHRONO mode で記録したデータは消去されます。

7 ページのメニュー9 でサーキットにおける区間数を再度確認してください

STOP mode から右ボタンを押して、その後、左ボタンを 2 秒間長押しすると、ALFANO 本体は REC. mode に設定されません:



次に右ボタンを押し ALFANO 本体の測定開始の準備をします。(この時 STOP が消えます) 最初のマグネットを通過したときに本体は測定を開始します

STOP される場合 (データ計測を中断させる)

- 1) 記録メモリーがいっぱいになった時 (6 ' 36 ' ' 80 時間の計測で終了です).
- 2) もしくは右ボタンを押した場合.

データの PC への転送

STOP mode では、左ボタン、そして右ボタンを押して転送するデータが入っているかを確認してください。

重要: データ転送は ALFANO 本体電源が入っている間に行ってください。一度、ALFANO 電源が落ちてしまうと記録データも自動的に削除されてしまいます。

CHRONO mode に戻るために、REC mode を出ます。

2 つのボタンを同時に 2 秒間長押ししてください。

重要: 一度 REC mode から出ると、その記録データは削除されます。